

名古屋工業会大阪支部兵庫支部共催 平成 28 年度「春季見学会」開催報告

名古屋工業会大阪支部兵庫支部共催の春季見学会を 5 月 22 日開催いたしました。神戸市東灘区深江浜にある「震災資料保管庫」の見学をし、地震で失ったもの、伝えるべきもの、そして活かさなければならぬものを学びました。参加者は 14 名でした。

阪神高速株式会社様では、平成 7 年に発生した阪神淡路大震災での被災・復旧経験を風化させることなく後世に語り継ぐため、社会貢献活動の一環として、平成 11 年 10 月に『震災資料保管庫』を開設し、被災した高速道路損傷構造物を保管されています。これまでも、行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方が見学されています。また、震災が発生して 15 年、震災資料保管庫開設 10 年を機に、一般の方や小さい方にもわかりやすく、平成 21 年 12 月に、『リニューアル』されました。

はじめに、地震の概要、その後の復旧までのあゆみのビデオを見た後、阪神高速株式会社 C61 渡辺尚夫さまにより、保管庫の案内、各展示の説明をしていただきました。

大きな柱や桁、橋梁の支承(橋梁の桁と橋脚や橋台間に取り付けられている部材)の実物

を切り出して展示されています。もとの構造物がどんなものかわるように、パネル・模型も展示されています。この部分がこんなことにと驚き、非常にイメージしやすいものでありました。大きな構造物が実際に曲がったりし、亀裂があったり、溶けて固まりひびひびたりなどなど、目の当たりにし、地震の凄さ、自然の力の大きさをうかがい知れました。地震から構造物を守るためにはどのようなことが必要かを考えられ、力を逃がす、揺れを吸収するような装置が考案されて、取り付けられているものがありました。

見学後、地元魚崎郷の桜宴にて懇親会を行いました。

「震災資料保管庫」は、一般公開されています。詳細は、一般財団法人阪神高速道路技術センター 以下のページをご参照ください

<http://www.tech-center.or.jp/hokanko/inspection.html>

